

平成23年度（第110回）
兵庫県大学図書館協議会総会

承 合 事 項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動
(平成22年度)

平成23年7月

兵庫県大学図書館協議会

目 次

兵庫教育大学	1
神戸大学	3
海技大学校	5
神戸市外国語大学	6
神戸市看護大学	7
兵庫県立大学	
神戸学園都市学術情報館	8
播磨光都学術情報館	9
姫路新在家学術情報館	10
芦屋大学	11
大手前大学・大手前短期大学	12
関西看護医療大学	14
関西国際大学	15
関西福祉大学	16
関西学院大学	17
近畿医療福祉大学	19
近大姫路大学	20
甲子園大学	21
甲南大学	22
甲南女子大学	23
神戸海星女子学院大学	24
神戸学院大学	25
神戸芸術工科大学	27
神戸国際大学	29
神戸夙川学院大学	30
神戸松蔭女子学院大学・短期大学部	31
神戸女学院大学	32
神戸女子大学	33
神戸親和女子大学	34
神戸常盤大学	35
神戸ファッション造形大学	36
神戸薬科大学	37
神戸山手大学・神戸山手短期大学	38
聖トマス大学	40
園田学園女子大学	41
宝塚大学	42
姫路獨協大学	43
兵庫大学	44
兵庫医科大学	45
武庫川女子大学	46
流通科学大学	48
近畿大学豊岡短期大学	49
神戸女子短期大学	50
産業技術短期大学	52
頌栄短期大学	53
聖和短期大学	54
東洋食品工業短期大学	55
姫路日ノ本短期大学	56
湊川相野学園・湊川短期大学	57

機関名 兵庫教育大学附属図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

(1) 施設整備

- ・入退館システムの更新
- ・ライブラリーホールの机・椅子の更新
- ・ライブラリーホールの AV 機器および同管理システムの更新
- ・閲覧椅子の更新
- ・閲覧机のうち、一部の4人掛け机の木製仕切り板(中央1枚)をアクリル製(1人ずつの仕切り)に改修

(2) 館長懇談会の実施

利用者のニーズを把握するため、館長と学生との懇談会を開催した。

II. 学習支援関連

(1) 情報リテラシー教育支援

- ・「新入生オリエンテーション」「図書館ツアー」「文献探索と入手方法」等の説明会を年間延べ20回開催した。
- ・学部1年次生の授業「初年次セミナー カレッジスキル」において図書館の利活用、文献・情報の収集法等に関する指導補助を行った。
- ・その他、教員の要望により、授業のゲストスピーカーとして文献・情報の探索及び収集等について講義を行った。

(2) Book ギャラリー

- ・読書離れが進む学部生に対して図書に対する興味を持ってもらおうという趣旨で、設定したテーマに沿って所蔵資料を展示する企画展「Book ギャラリー」を開催している。22年度は、教材文化資料館(附属図書館に併設)の企画展と連動し、前期に『驚くところ』(自然科学)、後期に『迷えない時代』(地図、地理教育)と題した展示を行った。

III. 研究支援関連

(1) 兵庫教育大学学術情報リポジトリ(愛称:HEART)の推進

- ・22年度もコンテンツの充実に努め、学術雑誌論文123件、紀要論文1,209件、学位論文890件、科学研究費補助金報告書28件、教材資料アーカイブ49件、広報誌等85件の累計2,384件となった(平成23年3月31日現在)。

(2)教育実践資料の公開の推進

・教材文化資料館で収集した小・中学校，高等学校，幼稚園，特別支援学校等の研究発表会資料を中心とした授業実践に関わる資料の書誌・所蔵情報を蔵書目録（OPAC）及び教育実践資料データベース（附属図書館ホームページから公開）に登録した。累計は，平成23年3月31日現在で1,231件となっている。

IV. 地域連携

特になし

機関名 神戸大学附属図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I.組織機構・管理運営関連

(1) 大学文書史料室、「国立公文書館に類する施設」として指定

附属図書館大学文書史料室が内閣総理大臣から「**国立公文書館に類する施設**」の指定を受けた。大学文書史料室 HP にて「神戸大学特定歴史公文書等データベース」を公開開始

(2) 施設整備

- ・ 入退館管理システムの導入（総合・国際文化学図書館、自然科学系図書館、人間科学図書館、海事科学分館）
- ・ 社会科学系図書館所蔵マイクロ資料の適切な保管・運用を図るため、24時間空調可能なマイクロ保管室を設置・移転
- ・ 「震災文庫」を将来の資料増加にも対応した利用しやすい場所に移転
- ・ 昭和10(1935)年製作、昭和48(1973)年に1回目の修復がされた社会科学系図書館本館大壁画「青春」の2回目大規模修復事業を実施



(3) 図書館活動評価

- ・ 附属図書館デジタルアーカイブ事業に対して、今後の図書館のあり方を示唆する先進的活動を行っているとして、大学図書館では初めて「**Library of the Year 2010**」**優秀賞**を受賞
- ・ 附属図書館「学術成果リポジトリ推進ワーキンググループ」の活動に対して、学長から特別賞を受賞

(4) 職員のスキルアップ

- ・ 図書館長による「**神戸大学附属図書館職員のためのラテン語入門**」を3週に亘り開催、全学9館室から15名の職員が受講。講義は録画しテキストと共に、神戸大学学術成果リポジトリにて公開中
- ・ 舞台美術家を講師として、「**図書館空間をつくる：利用者を引きつける空間づくり**」を兵庫県大学図書館協議会研究会として企画、好評により2回開催。神戸大学職員は聴講を含めて33名が受講
- ・ 12月28日、全学9館室の職員が集まり、大学文書史料室講師から「神戸大学史」「公文書管理法と大学文書史料室の関わり」について情報共有

II. 学習支援関連

(1) 利用者ニーズ直接把握の取組

- ・ 「**学生と館長等の懇談会**」を開催
(社会科学系図書館、自然科学系図書館、人文科学図書館、医学分館、海事科学分館)

(2) 学習環境の整備

- ・ 開架閲覧室やグループ学習室の整備 (医学分館、海事科学分館、保健科学図書室)

III. 研究支援関連

(1) 教育研究基盤資料の整備

- ・ 全学経費 (●億) 及び間接経費 (●億) により、2010年電子ジャーナル及びデータベースの提供維持実現
- ・ 「Web of Science」(全分野) 及び「Nature」の全期間のバックファイル導入を実現

(2) 所蔵資料及び学術成果の公開推進

- ・ NII 遡及入力事業に採択され、マイクロフィルム資料及び中国書を入力
- ・ 「**戦前期新聞経済記事文庫データベース**」について、科学研究費補助金「研究成果公開促進費」を7年連続で採択され、デジタル化及び全文テキスト化を継続実施中
- ・ 図書館長が機関リポジトリへの「博士学位論文」登録をスムーズに実施するため、各研究科長と面談し、協力を直接依頼

IV. 社会連携

(1) 資料展の開催

- ・ **資料展『住田文庫』にみる開国と文明開化**を、社会科学系図書館にて開催 (平成22年10月22日～12月21日)。さらに、放送大学等が入る神戸大学アカデミア館にて**巡回展を開催** (平成23年1月21日～2月10日)

(2) 大学文書史料室展示会の開催

- ・ 神戸大学史・**特別展「神戸大学と戦争(1937-1945)」**を、神戸大学百年記念館にて開催 (平成22年10月25日～11月5日)
- ・ **巡回展**を、神戸大学アカデミア館 (平成22年11月16日～29日)、神戸大学東京六甲クラブ (平成23年2月6日～9日) にて開催



機関名 海技教育機構 海技大学校図書室

学習支援の充実について

(1) パソコン環境の充実

室内の全てのパソコンで Microsoft Office(Word、Excel、Access、PowerPoint 等)の使用や、プリントアウト(白黒又はカラー)が可能となった。調査研究・情報収集のためにインターネットの接続もできる。また、本大学校制作 DVD は「安全運航・意識の啓蒙」に役立てる目的で自由に複製が可能のため、利用者は試聴後、興味のある DVD の複製を行っている。



本校制作 DVD『ひとりBRM』

(2) リーディングテーブルの新規購入

テーブルと照明が一体化したリーディングテーブルは、個別スイッチ付きのため、使用する箇所ごとに入/切ができる。また、机上面にはデスクトップコンセントや情報アクセスが行えるモジュラーツインコネクターを装備し、図書や資料の閲覧だけでなく、情報機器に対応した機能も充実している。利用者自身のパソコンによるインターネット接続が可能な環境となり、さらに学習環境が整備された。



リーディングテーブル



デスクトップコンセント・モジュラーツインコネクト

本校図書室は、面積が 173m² と省スペースのため、できるだけ多目的に使用できる備品・設備等を充実させることによって、平年の2倍以上の利用者増に繋がった。

機関名 神戸市外国語大学学術情報センター(図書館)

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

(1) パソコンの増設

・図書館内の閲覧室に学内LANに無線接続可能なノートパソコン 24台、プリンタ3台設置(2011年3月)



(2) 学術情報部会の設置

・2010年度より学術情報センターの資料、情報発信(リポジトリ含む)、利用向上、地域貢献などの事項を審議する部会が設置された。

(3) 活動報告書の作成

・2009年度の年次報告(活動報告)を作成し、ホームページでも公開。

II. 学習支援関連

(1) ゼミガイダンスの実施

・ゼミを対象としたガイダンスを実施。28回、225人が受講。

(2) 学科対象のミニ展示

・学科別にテーマを設定し、年4回展示替えをおこなうミニ展示を実施。学科、言語担当司書が中心に企画。

(3) 「風のたより II」完結記念展示

・木村榮一前学長の「風のたより II」の完結を記念して、50回分の本文中で紹介された図書を展示。

(4) ホームページで司書おすすめ資料・サイトを紹介

III. リポジトリ構築に向けて

・NII学術機関リポジトリ構築連携支援事業平成22-24年度委託事業(領域3)「近畿機関リポジトリコミュニティ形成の支援」事業に連携機関として参加。

・兵庫県大学図書館協議会「機関リポジトリ支援のためのWG」活動に参加。

機関名 神戸市看護大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

II. 学習支援関連

- ・4月に学部および大学院新生を対象に図書館ガイダンスを実施。
- ・4月下旬、学部新生および編入3年生を対象に文献検索講習会を実施。
- ・4月から『闘病記』をテーマに館内の一角で図書展示を始めたところ好評だったため、継続実施中。

III. 研究支援関連

IV. 地域連携

機関名 兵庫県立大学神戸学園都市学術情報館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

学習支援関連 神戸学園都市学術情報館 PC自習室

平成22年4月、経営専門職大学院(MBA)の新設に合わせ、神戸学園都市学術情報館2階の旧「特別資料室」にPCを設置し、授業・ゼミ室として整備するとともに、学部生・大学院生のPC自習室(平日・土日を問わず22時まで)としても活用している。

研究支援関連 瀧川文庫

本学の卒業生である瀧川博司氏から寄贈を受けたもので、「イギリス古典思想文庫」(1990年3月寄贈、学術情報館長室に設置)と「ヒックス文庫」(1991年2月寄贈、学術情報館1階に設置)の2つから成り、いずれも貴重資料として、利用目的を教育・研究に限って公開している。

(1)「イギリス古典思想文庫」

イギリス社会経済思想史関係の稀覯書で、イギリス思想史に関心のある人なら、すぐに手にとってみたくなる貴重な書物が多数含まれており、全国でも本館でしか見られない書物や、国内でも数点しかない書物も多く含まれ、全国に誇れるコレクションとなっている。

「イギリス古典思想文庫」は、アダム・スミスの「国富論」(初版本1776年及び第3版1784年)や、本邦でも2か所にしか所蔵のないといわれるホップズの政治哲学の著作「リヴァイアサン」(初版本1651年)、ルネッサンスの人文学者デジデリウス・エラスムスのラテン語による諷刺文学「愚痴神礼賛」(最初の英語版1569年としては、我が国で唯一の存在)をはじめ、フランシス・ベーコンやJロック、J・Sミルなど、他では見られない貴重な著書約400冊を所蔵している。

(2)「ヒックス文庫」

J・Rヒックス自身の未公開論文を含むヒックス研究に関する書籍・研究資料を集積。

「ヒックス文庫」は、イギリスの経済学者ジョン・ヒックス卿(1904-1985)の遺した蔵書、専門雑誌、未発表原稿、書簡、ノート等2,400点から成るコレクションであり、特にヒックス卿自身の未発表原稿(タイプ・自筆)や書簡、ノート等約800点は、本館にしかない貴重なもので、国内外の研究者が閲覧のため来館している。

機関名 兵庫県立大学播磨光都学術情報館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成 22 年度)の報告について

紀要の電子化の推進

当館では、物質理学研究科・生命理学研究科の研究報告並びに研究一覧を毎年発行しているが、印刷物での発行は、費用がかかること、発行が遅れると内容が陳腐化してしまうことなどから、下記のとおり電子化し、ホームページで公開している。研究報告・研究一覧とも、過年度分の電子化も検討したい。

1 研究報告

- (1) 平成 20 年度発行分(Vol.19)から電子化のみに移行した。その際、一年前の Vol.18 も電子化し、あわせてアップした。
- (2) 現在、国立国会図書館インターネット資料収集保存事業に採択されている(兵庫県立大学のコンテンツでは、この研究報告のみである)。
- (3) 当館の公開 URL 及び公開コンテンツ
http://lib.laic.u-hyogo.ac.jp/laic/2/reports_list.html
2007 年度発行分(Vol.18)
2008 年度発行分(Vol.19)
2009 年度発行分(Vol.20)
2010 年度発行分(vol.21)

2 研究一覧

- (1) 平成 21 年度発行分(Vol.20)から印刷物の発行とともに、電子化での発行を行っている。
- (2) 平成 22 年度からは、提出のあった講座から順次アップ(ホームページの紀要のページには「部分掲載」と表示)し、迅速な情報提供を行っている。それにあわせて、物質理学研究科・生命理学研究科のホームページ(講座一覧)から当館のホームページへのリンク設定を行い、どちらからもアクセスできるようにした(両者は独立して管理運営しているため、従来は物質理学研究科・生命理学研究科のホームページの管理者に改めて掲載依頼を行っていた)。
- (3) また、物質理学研究科・生命理学研究科では、原研・理研等による連携大学院を設置しているが、これらの講座は通常の講座よりも外部へアピールする機会が少ないため、研究一覧の電子化は特に効果的であると思う。
- (4) 当館の公開 URL 及び公開コンテンツ
http://lib.laic.u-hyogo.ac.jp/laic/2/annual_list.html
2009 年度発行分(Vol.20)
2010 年度発行分(Vol.21)

機関名 兵庫県立大学姫路新在家学術情報館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

特になし。

II. 学習支援関連

- ・「環境人間学部生のためのおすすめ図書100選」を選定し、特設コーナーを設置した。
1、2年生を対象に、環境人間学を学ぶに当たって必要となる基礎的な知識や思考が得られるような図書を選定。
- ・「環境人間学フォーラム」を企画し、学生主体で実施・運営させた。
本学環境人間学部及び同環境人間学研究科が一体となって、「環境人間学」をキーワードに、さまざまな分野の交流と発展をめざすことについて、姫路新在家地区学術情報部会が検討、企画。学生主体によって運営され、ポスターセッションのほか、基調講演及びパネルディスカッションが催された。

III. 研究支援関連

- ・研究紀要、業績一覧の印刷物を発行し、そのデジタル化したものについて、学内限定にて試行的にweb公開を行った。

IV. 地域連携

- ・近隣の中学校から「トライやる・ウィーク」の活動に係る生徒を5名受け入れた。
中学2年生が1週間、学校を離れ、地域や事業所、公的施設等で就労体験活動を行う「トライやる・ウィーク」事業について、受け入れ、実施した。

機関名 芦屋大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

図書館は芦屋大学、芦屋学園短期大学共有。

II. 学習支援関連

去年より学習自習室を設置。

III. 研究支援関連

レポート作成資料、論文作成資料の提供。学内図書館システムにより、書誌情報を提供。

IV. 地域連携

図書館を利用する場合は、公共図書館の紹介状が必要です。事前に問い合わせが必要です。

機関名 大手前大学・大手前短期大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

- (1) メディアライブラリーCELL と伊丹図書館の機能分化
 - ・専門図書中心のメディアライブラリーCELL と学習基本図書中心の伊丹図書館がこなう機能の明確化。
 - ・伊丹図書館の蔵書内容の見直しと閲覧室の蔵書配置を整備。
- (2) 国立情報学研究所 ILL 文献複写等料金相殺サービス制度加入
 - ・現物貸借・文献複写とも受付数が前年比の約4倍に増加。
- (3) 国立国会図書館レファレンス協同データベース事業加入
 - ・本学が公開した「大手前大学メディアライブラリーCELLについての参考資料」がおすすめ事例として紹介された。
- (4) 職員のスキルアップ
 - ・「学術情報リテラシー教育担当者研修」(NII)、「初任者研修」(大学図書館近畿イニシアティブ)、「第10回資料保存研修」(国立国会図書館)、「図書館等職員著作権実務講習会」(文化庁)、「近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援研修会」(NII)等を受講

II. 学習支援関連

- (1) 図書館利用指導、情報リテラシー教育
 - ・1年次必修科目「フレッシュマンセミナー」にて図書館活用のガイダンス実施
 - ・2年次必修科目「基礎演習」にて図書館活用のガイダンス実施
 - ・3年次と4年次ゼミでは教員の要望による「オーダーメイドガイダンス」を実施(31回)
- (2) 卒業論文の保存と運用
 - ・ゼミ教員によって推薦された卒業論文の保存および運用を開始。
- (3) 通信教育課程学生へのサービス
 - ・スクーリング日の開館時間延長(土:14:00~18:30、日:12:00~18:30、長期休暇中:17:00~18:30)
 - ・メールによるレファレンス、宅配便を利用した送本貸出など。
- (4) レポート課題への支援
 - ・レポート課題の作成時に図書館資料が活用されるよう、事前に教員と連携し準備。

III. 研究支援関連

- ・私立大学等研究設備整備費等補助金(文部科学省)により研究用高額図書を購入。
- ・電子ジャーナル等のインターネット資源の拡充。
- ・博士学位論文の電子化および図書館Webサイトでの公開。
- ・兵庫県大学図書館協議会「機関リポジトリ支援のためのWG」活動に参加。

IV. 地域連携

(1) 学外者への図書館開放(閲覧、貸出)

- ・本学主催の公開講座や講演会にて、学外者登録案内のちらしを配布。
- ・近隣の公立図書館の広報紙や地域のミニコミ紙などでの告知。

(2) 館種の異なる図書館への支援

- ・近隣の公立図書館(西宮市立図書館、伊丹市立図書館)へ毎月の新着速報を送付。
- ・公立図書館、研究所、美術館附属図書室等への現物貸出等の相互利用サービスの実施。

(3) 近隣の公立中学校からの「トライやるウィーク」の受入れ(2校)。

機関名 関西看護医療大学 図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

(1) 施設整備

図書館天井の照明増設

(2) 寄贈図書整備

岩澤氏より図書 2800 冊の寄贈を受け、「岩澤文庫」として整備(23年度整備継続)

(3) 雑誌のバックナンバー収集

日本看護図書館協会が開催する重複雑誌交換事業により、看護医療系の雑誌のバックナンバーを収集。

II. 学習支援関連

(1) 図書館講座

①OPAC 演習

1、2年生を対象とし、4月中1日数回の OPAC 演習を開催。申込制とし、一人から受講可能。図書館でパソコンを使った検索と書架での探し方の演習を40分で行う。

②文献検索から入手まで

教員からの依頼により、3年生の授業の一コマに看護文献の検索方法と文献入手方法について、データベースを使って演習。

機関名 関西国際大学

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

図書館職員の所属が教務課にあり、教務・学習支援・メディア・図書館の部門で情報を共有し業務を行っている。

図書館職員は全員大学の直接雇用となっている。館員のすべてがカウンターでの対応も行うので、学生との距離が短く、学生にとって相談しやすい図書館だと言える。

II. 学習支援関連

- ・就職・資格関連の資料を図書館と学習支援の部門に置いて学習をサポートしている。
- ・ゼミの授業等の時間で、図書館文献検索ガイダンスを図書館員が行っている。
- ・学生選書コーナーを設置している。(尼崎)
- ・絵本コーナーが充実している。(尼崎)
- ・検定教科書・指導書が充実している。(尼崎)

III. 地域連携

地域の方に図書館の利用を開放し(三木)、学習支援センター(図書館所属)の委員が三木市の図書館協議会委員の委嘱を受けている。

機関名 関西福祉大学附属図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

施設整備

図書自動貸出返却装置を1台設置

II. 学習支援関連

図書館利用講習会の実施

平成22年4月～5月に、図書館ガイダンス(基礎編、応用編)を実施した。参加人数は少なかったが、参加者のアンケートからは参加して良かったという満足度の高い結果が得られた。

III. 研究支援関連

研究紀要論文の一般公開

研究紀要論文を電子化、ホームページ上で公開

IV. 地域連携

公立図書館との連携

地元の公立図書館と本学図書館の相互利用の実施を推進

Ⅲ. 研究支援関連

(1) 電子ジャーナルの拡充

- ・ 出版社単位での契約を増加。Springer 社と Cambridge University Press 社の契約購読雑誌を電子ジャーナルに切り替え。

(2) 学術成果（大学）リポジトリの推進

- ・ 学部・研究科発行の紀要掲載論文をリポジトリに一括登録。
- ・ 本年度から授与される博士学位論文の登録。
- ・ 兵庫県大学図書館協議会「機関リポジトリ支援のためのWG」活動に参加。

(3) デジタルライブラリーの構築

- ・ 「経済思想家の手稿と自筆書簡Ⅱーミル・マルサス・ワルラスー」を構築。

(4) EUIJ 関西ライブラリーの充実

- ・ 2009年4月から神戸大学、大阪大学、本学でコンソーシアムを形成し、EUIJ 関西第Ⅱ期事業が開始。EUIJ 関西図書選定グループ事務局として活動。

Ⅳ. 地域連携

(1) 一般公開利用

- ・ 大学図書館一般公開利用者として 204 名が登録。

(2) 学術資料講演会・館内展示

- ・ 兵庫民藝協会の協賛を得て、学術資料講演会「民藝運動と関西学院一雑誌『工藝』を中心としてー」（神田健次神学部教授）を11月11日に開催。
- ・ 館内展示として、春季に「関西学院の出版物」、夏季に「日本万国博覧会とその時代」、秋季（特別展示）に「民藝運動とその展開」、冬季に「歌舞伎を愉しむ」を開催。

以上



機関名 近畿医療福祉大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

特になし

I. 組織機構・管理運営関連

II. 学習支援関連

III. 研究支援関連

IV. 地域連携

機関名 近大姫路大学附属図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

1) 学生図書新聞

図書館の広報活動の一環として、学生による図書館新聞(壁新聞)を発行した。ある学生から、高校生のときに取り組んでいた図書館に関わる新聞の発行をやってみたいとの申し出があり、図書館の管理の下、実施することとなり、新聞は学内に掲示している。今後は新聞発行のみならず、学生図書委員的な活動へ発展させていくことを検討している。

II. 学習支援関連

1) 学生選書ツアー

年に2回学生選書ツアーを行い、学生が書店で図書館においてほしい図書を選書する。選ばれた図書は学生が書いた紹介文とともに展示しており、利用が多く、図書館の利用促進、読書傾向の把握等につながっている。

2) 読書マラソン

本を読み、紹介文を書いて提出するごとに1ポイントずつスタンプカードに押印し、たまったポイントの数に応じて文房具等の景品を贈呈する。読書推進、思考力や書く力の向上をねらいとしている。

3) 企画展示

3か月に1回のペースで企画展示を行い、図書館の利活用促進に努めている。テーマにそった所蔵資料を紹介文とともに展示し、ホームページでも紹介している。

III. 研究支援関連

特にございません。

IV. 地域連携

1) 図書館主催講座「源氏物語を読む会」

昨年度の高評価を受け、平成22年度においても引き続き実施した。9月から2月までの月1回、全6回にわたり開催し、申込対象者は近隣の方、学内者としたところ、各回の平均参加者数は学外者は48名、学内者は2名だった。実施前の広報活動は、ホームページ掲載、公民館等の近隣施設への訪問により行った。広報用のポスターはトライやるウィークで受け入れた中学生が原画を作成した。参加者からは今後も継続してほしいとの要望を受けており、今年度の実施について検討しているところである。

機関名 甲子園大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

5月23日より、図書館員2名で時差出勤を行い、授業期間中の平日閉館時間を17時から18時に変更

II. 学習支援関連

総合教育研究機構で、1回生が全員履修している「教養演習I」の中に、図書館利用等の質問の時間が設けられている

III. 研究支援関連

大学紀要を図書館のHPで公開

IV. 地域連携

兵庫県(特に宝塚)関係の資料の収集

一般市民への開放

機関名 甲南大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

- ・閲覧業務について、2010年4月1日より業務委託化を導入した。
- ・書庫問題については、図書館屋上を建増できないか、その可能性を検討したが、費用対効果の面などからもあまり良策とはならないとの結論となった。今後も引き続き、検討していくこととなった。書庫の資料を整理、一部を8号館地下図書室に移動した。
- ・ガイダンス指導が可能なPCルームの創出に向け、情教センターへノートPCの設置についての要望書を提出した。
- ・2009年後期から導入した新図書館システムの安定した稼働状態を継続させることに努めた。

II. 学習支援関連

- ・毎月1回の見計らい選書に図書館商議員の協力、また、店頭への買出しには学生の協力を得た。蔵書構成を鑑みて、特に自然科学分野の充実に努めた。
- ・エントランスの展示は、6つの企画を実施した。うち1回は文学部歴史文化学科の講義の一環として古地図の展示を行った。
- ・新入生に対する図書館利用ガイダンスならびにゼミと連携した利用者教育の充実に努めた。
- ・「教科支援図書館ガイダンス」という小冊子を作成し、ガイダンスの充実に努めた。
- ・語学学習室で、50冊チャレンジの達成者が4名となった。
- ・留学生ボランティア1名を受け入れた。

III. 研究支援関連

- ・2012年の自己点検に向け、学術情報のうち、その重要度が増してきている電子媒体等の収集、利用体制の構築を図った。学部学生の学習、求職活動に効果の高い「日経BP記事検索サービス」(データベース)および電子媒体の利用効率を高めるためのSFX(リンクリゾルバ機能)の予算申請を行い、2011年度からの導入が認められた。
- ・コレクションについては、戦前の神戸市の地図および絵葉書等を蒐集した。
- ・グループ学習室の設置については、今後も継続して検討していく。
- ・機関リポジトリについては、適切な導入方法に関して今後も継続して検討していく。

IV. 地域連携

- ・東灘地区の地域に対しての地域住民への利用を展開した。昨年に続いて、定員100名を充足した。今後も継続して、利用地域の拡大(西宮キャンパス、ポートアイランドキャンパスのエリア)の可能性を検討する。
- ・「トライやる・ウィーク」で本山南中学校2年生4名を受け入れた。
- ・高校生を対象とした見学会などを入試事務室と協働して41回実施し高大連携事業に協力した。
- ・公開講座、社会人講習会等の受講生に対して、図書館を利用できるようにした。2010年度は、合計158名(公開:50名、社会人:108名)。(前年より8名増)

以上

機関名 甲南女子大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

II. 学習支援関連

「ジャパンナレッジレポート募集企画」

ネットアドバンスとの共同企画で、ジャパンナレッジを使った学生のレポートを募集。

レポート部門と課題部門に分けて募集を行い、検索説明会を開催し、それぞれに最優秀賞・優秀賞を選考して、学長から教育懇談会の開場で表彰を行った。

「図書館読書マラソン」

「読書マラソンコメント大賞」

読書マラソンに応募のあったコメントより、学長賞、図書館長賞、大賞を、図書委員会の教員と図書館員が合同で選考を行い、表彰を行った。

読書マラソンの景品にはメディア表現学科の学生の、手作りのブックカバーを渡し好評だった。

(コメントは館内に図書と共に掲示する。)

III. 研究支援関連

「ライブラリーツアー」

全学1年生を対象に、PC教室を使った図書館OPAC+百科事典検索と、図書館での資料探しを重点に、授業時間90分を使い実施する(1年担当教員は全員出席)

「情報検索講座」

学科の3年生を中心に、資料探しの方法とデータベースの検索方法を説明し、PC教室を使って演習を行う。

IV. 地域連携

機関名 神戸海星女子学院大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

(1) システム整備

平成23年3月より、新図書館システムを導入、OPAC機能を充実。

(2) 情報提供

図書館利用者アンケート調査を実施(平成22年11月)、集計結果を文書にて掲示。

II. 学習支援関連

(1) 学習支援

図書館内に「学習支援室」を設置(平成22年11月)、学習上の相談について、専任教員が指導や助言を行い個別に支援。

(2) 情報リテラシー教育支援

- ・1年次必修科目「基礎演習Ⅰ」における授業にて、図書館利用ガイダンスを実施、全クラス(計70名)が受講。
- ・3年次必修科目「演習Ⅰ」における授業にて、図書館活用と情報検索ガイダンスを実施、全クラス(計92名)が受講。

III. 研究支援関連

IV. 地域連携

承合事項

加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

1. 読書運動の推進

「読書ラリー」の開催【年間2回 4月～7月、10月～12月】

「あなたを輝かせる毎週一冊」読書運動の一環として、「読書ラリー」を実施しています。本を借りて読み終えたら、感想文やPOP(本の紹介)を書いて提出してもらいます。提出いただいた感想文やPOP(本の紹介)を館内の読書ラリーコーナーで掲示し、紹介本も展示しています。所定のポイント達成者には図書館オリジナルグッズ(エコバッグ、クリアファイル)を贈呈しています。



(図書館オリジナルバッグ、クリアファイル)

(参加者数)

2009年度、63名

2010年度、107名



(感想文やPOPの紹介)

2. 就職活動支援【通年】

「シュウカツに勝つ！」図書展示、パスファインダーの作成

1年間の就職活動の流れに沿って、関連する資料を展示して紹介しています。また、問題集の紹介のみに終わることなく、仕事力をつける、自分の適性はどこにあるのかなどを考えさせる展示となるよう工夫しています。

展示期間	展示テーマ
4月～5月	「～なるには」「～なりたい」仕事
6月～7月	「業界を知れ」
8月～9月	「自分を知れ」
10月～11月	「アプローチを開始しよう」
12月～1月	「試験を受けよう」
2月～3月	「自分に合った業界・職種を見つけよう」

3. 図書館表彰制度【毎年3月に表彰】

図書館では、「学生とともに創る活動的な図書館」をスローガンに、読書運動等学生参加型図書館活動を推し進めています。1年間、図書館活動に積極的に携わった学生、図書館を利用し、多くの本を読んだ学生の中から、図書館の利用促進に寄与し、特に顕著な功績を収めた個人および団体を表彰しています。2010年度は、図書館長賞1名、図書館活動賞2名、図書館奨励賞6名の合計9名の学生が受賞しました。



(表彰式の様子)

4. 館長懇談会「図書館長と話をしよう!!」を開催【12月】

『学生ニーズに応える大学づくり』『元気・そして活力のある図書館』を目指して実施した懇談会企画です。

有瀬とポートアイランドキャンパスとライブ中継し、両キャンパスの学生が揃って懇談会に参加しました。最初はすこし緊張ぎみの学生も、次第にうちとけ、館長との対話だけでなく、学生同士でも意見をぶつけ合うなど、活発な議論がなされました。

学生選書ツアーの活用法や運用、また図書館の広報の仕方など、学生の生の声をたくさん聞くことができ、図書館としても、大変有意義な時間となりました。



(17名の学生が参加)

5. 「図書館コンチェルト 2010ークリスマスの物語と小さな音楽会ー」を開催【12月】

12月18日(土)、有瀬図書館新館1階にて、「図書館コンチェルトークリスマスの物語と小さな音楽会ー」を開催しました。

日頃は静寂に包まれた図書館内も、この日ばかりは、クリスマスムード一色に染まり、神戸学院大学管弦楽団による迫力ある演奏と、クリスマスを間近に控えたこの季節にぴったりのストーリーテリングに、大人も子どもも、しばし時を忘れ、楽しみました。



(管弦楽団による演奏の様子)

参加者数 60名程度



(ストーリーテリングの様子)

機関名 神戸芸術工科大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

(1) 購読雑誌の見直し

より有用な雑誌を購読することで利用率向上を諮り、購読雑誌の見直しを行った。(6月)

(2) 選書ツアーの開催

選書ツアー(学生の図書館利用率を高めるために、学生と教員(監督付き添い)が書店に行って、実際に手に取りながら、学生の視点で学科として図書館に置いてほしい本を選ぶ企画)を年間9回実施

(3) リサイクルブックフェアの開催

教員、学生、学外者を対象に受入しない寄贈資料等の無償譲渡会を開催(6月)

II. 学習支援関連

(1) 図書館ツアーの開催

1年次科目「スタディスキルズ」の中で図書館利用案内のツアーを実施

(2) 「ビブリオテイクレクチャー」(図書館で購入した特別な図書(または視聴覚資料)についての教員によるレクチャー)を3回(6、7、11月)開催

http://www.lib.kobe-du.ac.jp/recture_hokoku.html



(3) 貴重書展の開催

- ・ 4回(4、6、9、1月)開催

(4) 広報紙「ビブリオテイク」の発行

- ・ 4回(4、6、10、1月)発行

<http://www.lib.kobe-du.ac.jp/bib.html>

Ⅲ. 研究支援関連

(1) 神戸芸術工科大学紀要「芸術工学」の発行

- ・ 「作品」「論文」「報告」「共同研究」を合計 24 本掲載

<http://kiyou.kobe-du.ac.jp/>

(2) 「KDU 学術情報」の作成、公開

- ・ 学位(博士)授与一覧→本学の博士(芸術工学)学位取得一覧
- ・ 教員業績情報→本学専任教員の業績情報
- ・ 科研費採択一覧→科学研究費補助金に採択された研究課題の一覧

http://www.lib.kobe-du.ac.jp/kdu_gakujutujoho/gakujutu_top.html

Ⅳ. 地域連携

(1) トライやる・ウィークの受入

- ・ 神戸市立長坂中学校 2 年生男子 2 名を 11 月 8 日～12 日まで受入

機関名 神戸国際大学情報センター(図書館)

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

学習支援関連

- (1) リハビリテーション学部学生の利用頻度の高い図書を、一ヶ所にまとめて配架する
- (2) 図書館の開館時間の延長 (平日の閉館時間を18時30分から19時に延長する)
- (3) NACSIS-ILL 料金相殺サービスに加入することにより、他大学図書館への文献複写依頼手続きが簡便になる

以上

機関名 神戸夙川学院大学

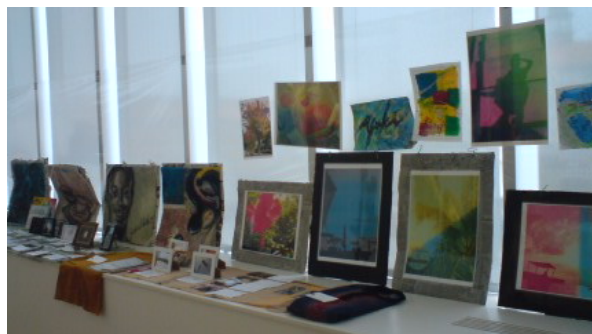
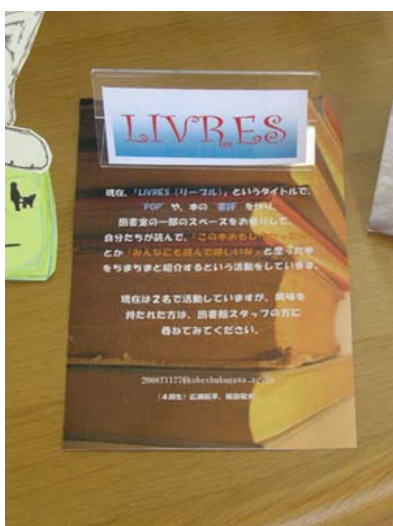
承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

- ・各国、各地の観光パンフレットの収集・展示



- ・学生有志への各種展示スペースの提供



機関名 神戸松蔭女子学院大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

(1) 設備

ブラウジングコーナーに文庫本用書架を設置。

(2) 職員研修

外部講師を招いて派遣職員も含むすべての図書館職員対象に春と秋の2回実施。

II. 学習支援関連

(1) 情報リテラシー教育

4月から5月にかけて新入生全員に実施、ゼミのクラス対象にオーダーメイドのガイダンスを実施、すべて1グループ15名までで1グループにつき3名の職員が担当し、43回実施した。

(2) 学生用図書選定

年2回 学生による選書ツアーを実施、388冊購入。
年1回 学内で文庫本の選書会を実施 758冊購入。

III. 研究支援関連

兵庫県大学図書館協議会「機関リポジトリ支援のためのWG」活動に参加。

IV. 地域連携

一般女子高校生に対して図書館を開放(閲覧・複写のみ)。

機関名 神戸女学院大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

II. 学習支援関連

(1) 図書館ガイダンス

1年生全員(約600人)、および1-4年生、大学院生、中学部生の要望があったクラスに図書館ガイダンスを実施(42クラス、のべ900人)

III. 研究支援関連

IV. 地域連携

(1) 公開展示会「世界が認めた最初の日本人ピアニスト小倉末子の軌跡」の開催に参画した。

図書館において、2010年10月1日～2011年1月26日開催

機関名 神戸女子大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

● 教員推薦図書コーナーの設置

平成22年度から開始した各学科教員による持ち回りで、「推薦図書コーナー」を設置した。これは、総合大学である本学の特性を活かし、学生に自身の専攻している学問以外の分野に広く視野を広げる機会を提供する意図のもとに開始し、今後も継続していく予定である。

教員の推薦する専門分野の本を、来館すれば必ず目に入る図書館のメイン通路に展示スペースを設置し、他学科の学生が手軽に手に取りやすいよう、その本についての教員からの推薦コメントを、それぞれの本に帯の形で添付している。過去の展示分についても、ホームページに載せ展示内容が分かるようにしている。今後も継続していく予定である。

● チャットルーム

社会のさまざまな方面で活躍する方々を講師として図書館に招聘し、全学の学生を対象にして開催している。学生に学校関係者以外の社会人と話し合う機会を提供し、直接会話をすることによって、本学の建学の精神に基づき、対話力を培うとともに、授業以外の知識を広げる一助となることを目指し、2004年以来、年2～3回実施している。

機関名 神戸親和女子大学附属図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

II. 学習支援関連

- ・ 基礎演習科目等、図書館リテラシー教育に対する協力を行った。
- ・ 2年次以降の学生に対する情報リテラシー教育への協力を行った。

III. 研究支援関連

- ・ 学術情報資料の迅速な提供
- ・ 電子サービスの提供(図書購入依頼・相互利用依頼)
- ・ データベース構築

IV. 地域連携

- ・ 一般登録者(有料)の図書館利用
- ・ 高大連携
- ・ トライやるウィーク

機関名 神戸常盤大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

特になし

I. 組織機構・管理運営関連

II. 学習支援関連

III. 研究支援関連

IV. 地域連携

機関名 神戸ファッション造形大学附属図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

II. 学習支援関連

(1) 学生選書ツアーを実施

(2) 卒業研究のための文献収集、パワーポイント作成指導など、要望があれば個別に対応している。

III. 研究支援関連

IV. 地域連携

機関名 神戸薬科大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

図書の廃棄や 雑誌のバックナンバーの移動を実施し、書庫スペース確保に努めている。学術雑誌は冊子体から電子ジャーナルに購読変更し、積極的に電子化を推進している。特に学術雑誌の費用やスペースの問題については、検討を重ねて情報収集に努めている。

II. 学習支援関連

1年次必修科目「早期体験学習」と2年次必修科目「総合文化演習」を利用した図書館利用案内や、大学院生の希望者を対象とした文献の複写依頼方法説明会を実施し、情報リテラシー教育を支援している。また、長期学外実習中の学生に対しては返却期限を延長し、利用者のニーズに合わせた対応をし、学習を支援している。

III. 研究支援関連

電子ジャーナルの利用を推進するためリンクリゾルバを導入し、快適な電子ジャーナルの利用環境を提供している。また、雑誌価格高騰により新規購入ができない事を考慮し、学外への文献複写依頼料金の図書館負担を2010年4月から開始した。各研究室の公平性を高めるためにも、データベースの利用ルールを作成し、メールで送信するだけでなく、教授会にも報告し周知徹底させた。更に、学会発表等の支援のためA0プリンターを導入し、研究を支援している。

IV. 地域連携

大学行事にて図書館利用案内のチラシを配布して、近隣地域在住者に図書館の公開をPRしている。また、2010年9月から2011年2月まで館内展示絵画2点を、「神戸ゆかりの美術館」の展覧会に貸出して、地域とも連携を図っている。

機関名 神戸山手大学・神戸山手短期大学

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

① 施設整備(平成20年度の特色)

- ・ 本学図書館は、独立した建物ではなく、別置室が分散していて、何れの蔵書室も狭く、書架も不足しており、その上所蔵可能な冊数を超えている状態である。日常の図書を配架するには、結構な時間と体力が必要になり、利用者サービス対応にも影響があるので、通常業務をスムーズに行われ、職員の労働環境も改善するため、春休みを利用して、臨時倉庫に使われた雑誌室の整理・整頓を行い、十数年間で廃棄してきた PC 本体やその周辺機器の山ほどのゴミを捨て、余っている書架を増設した、それによって、継続資料の保管スペースを確保でき、利用者が利用し易い環境を整えた。
- ・ 第1閲覧室のカーテンを新調。図書館開館以来、数十年年月と日射によって、劣化しており、洗濯も不可能になった、見た目悪いより学生健康にも良くないので、学園の特別費用で新調し、快適な利用者環境及び職員労働条件に改善。

② 自己点検評価及び情報提供(この数年)

- ・ 年度版図書館年次報告書を作成、図書・学術委員会で、委員先生へ配布或いは報告。
- ・ 新学期の導入教育際に、新入生対象に図書館についてアンケート調査を実施、調査結果のデータを集計し、選書方針決定の参考になって、学生から要望を把握

③ 業務知識の Know-How を館員共有(平成21年から～)

- ・ 春休期間を有効利用に、全て職員を動員し、皆其々自分分担している分野で図書館利用案内の教材(プレゼン用PP)を制作し、形と内容を統一編集し、皆共有する。それによって図書館員間の業務レベルも利用者サービスも、質を統一でき向上化

II. 学習支援関連

① 情報リテラシー教育支援の図書館利用案内

- ・ 図書館利用為の支援を強化し、図書館利用ツアープログラムの常に改善及び充実する。選択できる図書館ツアーの詳細をメニュー化し、それを教員が、ゼミ生のニーズに応じて選択でき、より良い効果が出るように実施した。最初大学現代社会学部の1回生「基礎演習・図書館利用」の授業における年2回実施。昨年より、学科先生の要望に応じ、短大2回生と大学4回生対象に、ゼミ毎実施。(昨年度前・後期通算18回実施)

② 小規模・少人数教育の特徴活かす学習場づくり

- ・ 本学大学社会人コースのシニア学生が、IT 関連知識について、個人さがあるのに対して、卒業論文やレポート作成において不可欠なパソコンについての基礎知識を、検索の情報に精通する職員によりPC-Hour(パソコン利用検索及び技能ミニ教室)を設ける。パソコン応用や知りたいことを容易に調べることができる技術などの Know-How を学生や利用者に会得させ、ある程度上達でき、本学「自学自習」の建学精神を図書館で生ず

Ⅲ. 研究支援関連

① 常に更新するワン・テーマ・図書を展示

- ・ 学科の授業関係初め、時期や時事によることや、普段は書架に埋もれている魅力的な図書を紹介。本学において日独の環境対策などについて共同で比較研究されている環境文化学科の中野加都子先生と K・H・フォイヤヘート先生の著作物を紹介すると共に、日本とドイツの社会構造や考え方、自然観及び文化背景など関連図書『環境展-環境への取組みについて考える』展示。展示していた図書の目録を紙媒体「テーマブックリスト」を作成する上、OPAC で検索できる。それを続けるにより、本館独特な「テーマブック・データベース」として蓄積(現在通算検索 14 個可能)



Ⅳ. 地域連携

① 「Book Cafe」 In 図書館

- ・ 図書館利用者である本学の学生達が、お薦めの本を並べて、ブックカフェを開催し、来館者や高校生とお茶やお菓子を囲んで、積極的に読書について語り合う



② トライ やる ウィーク In 図書館

- ・ 神戸市立有野中学校から依頼を受け、「トライやるウィーク」活動する2年生の生徒3名が、本学図書館にて、1週間の見習い図書館員を体験し、図書室と図書館の相違や、利用者の角度から館員の立場に変わって、楽しく社会勉強し、社会人として、その重い責任感を身に付けられた



機関名 聖トマス大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

特になし

I. 組織機構・管理運営関連

II. 学習支援関連

III. 研究支援関連

IV. 地域連携

機関名 園田学園女子大学

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

IV. 地域連携 地域住民を対象とする一般開放(平成22年4月1日より開始)

○目的・趣旨 地域住民の自己啓発のための利用に供し地域文化振興に寄与するために、本学の教育研究に支障のない範囲内で、図書館を開放する。

○実施内容

【対象者】

- (1) 尼崎市内に在住の18歳以上の男女
- (2) 尼崎市内に在勤の18歳以上の男女
- (3) 尼崎市内に通学の18歳以上の女性

【利用手続】

- (1) 利用者は、利用登録料(1,000円)を納入し、所定の登録手続きにより「図書館利用者証」の交付を受ける。
- (2) 「図書館利用者証」の有効期限は、発行の時日に関わらず、毎年度末(3月31日)とし、年度ごとに更新することができる(更新手数料500円)。
- (3) 「図書館利用者証」を紛失したときは、申し出により再発行することができる(再発行手数料500円)。

【利用できる資料・サービス等の範囲】

- (1) 本学図書館利用規程に準ずるが、一般図書の貸し出しは5冊以内・15日以内とする。
- (2) 定期試験期間等の図書館繁忙期その他、状況に応じて利用を制限することがある。

○実施成果

利用登録者数73名

本学の知的財産を最大限に活用しての地域貢献が実現できている。

○現在の状況

平成23年度以降、さらに伊丹市、西宮市へと拡充している。

以上

機関名 宝塚大学

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

なし

II. 学習支援関連

学生選書

III. 研究支援関連

なし

IV. 地域連携

なし

機関名 姫路獨協大学附属図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

閲覧座席数増加に向けた学内調整: 図書館棟内にある、図書館以外の部署が管理する区域を、図書館閲覧室とするための調整。
平成23年度より実施。

II. 学習支援関連

指定図書制度の継続: 従来実施している指定図書制度を、継続して実施。

オンライン予約システムの実施: 貸出中図書の予約手続きを、利用者自身がOPAC画面上からできるシステムを運用開始。

III. 研究支援関連

IV. 地域連携

一般公開制度の継続: 開学時より実施している、本学図書館所蔵資料の一般公開制度を、継続して実施。

機関名 兵庫大学 情報メディアセンター

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

図書館課と ICT 教育課を統合し、情報メディアセンターとして新体制を築いた。
情報システム部門と図書館が力をあわせることにより、PC 環境の充実等、サービスが向上した。

II. 学習支援関連

図書館利用ガイダンスを実施し、新入生に図書館の活用や図書の検索方法等を説明した。
また、4年生に対して、論文作成に役立つ論文検索や館内サービスの説明を行った。

III. 研究支援関連

教育研究基盤の整備において、新 HARMONIS 学術情報システムの変更を行った。

IV. 地域連携

2市2町(加古川市、高砂市、播磨町、稲美町)に在住または勤務している方を対象に図書館を開放し、図書の貸出や閲覧ホールの利用等を推進している。

学園祭に合わせて、図書館講座「日本の文化 伝承あそび」を開催し、地域の方々に楽しんで頂いた。

機関名 兵庫医科大学

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

特記事項無し

II. 学習支援関連

学生会の要望で試験前、試験中、年間21日の土曜日、日曜日、祝祭日の開館時間を通常17時までを22時まで延長した。

III. 研究支援関連

特記事項無し

IV. 地域連携

特記事項無し

承合事項

平成22年度附属図書館事業概要報告書

中央図書館

1. 附属図書館の将来像

*図書館委員会で2回に亘り、「図書館事務部の課題」について議論を行った。「大学図書館のあり方」としての戦略（政策の策定等）、将来像のビジョンとミッション、特に学生の図書館利用拡大方策等について協議をした。

2. 図書館利用サービスの拡大

*図書館利用促進のための方策として利用サービスを拡大して成果を挙げた。

- ・9月より学部学生の貸出冊数を6冊から10冊に増やした。その結果、前年度と比して25%の増となった。
- ・中高大一貫教育の観点から9月より附属中高生に対する貸出サービスを開始した。
- ・10月より卒業生や薬学講座受講者に対する貸出サービスを開始した。

3. 卒業生コーナーを設置して著作物を展示

*5月に「宇多喜代子」や「湊かなえ」など、卒業生の活躍を学生等にPRするために著作物約100点を展示するコーナーを設置した。

4. 震災コーナーの設置

*阪神・淡路大震災の惨禍を風化させないために震災関係の図書館資料約600冊を収集して中央図書館地階の一角に震災コーナーを新設した。

5. 学生用図書の充実・強化 <学生による選書>

*図書館は教育・研究・学習を支援するため、学生用図書の充実・強化を図るべく学習用図書、学生希望図書及び視聴覚資料など、学生重視の図書館資料の充実を図った。

- ・「学生サポーターによる選書」は、7回実施した。
- ・「選書ツアー」は、9月に学生22名の参加を得て紀伊国屋書店本町店で実施した。
- ・資料の利用促進のために図書館内で一定期間の展示、館員の企画による特別展示等を開催。

6. 学術電子資料の整備と利活用の推進

*継続導入している資料で利用頻度が高いもの、冊子体の外国雑誌で電子ジャーナルに転換することが出来るものについて、大学全体で調整を図り、学術電子資料の充実を図った。

7. 初めて附属図書館主催の講演会を開催

*図書館地階学習図書閲覧室において、薬学部 東洋医薬学研究室の高 明教授により「現代女性と漢方医薬学」という演題で講演会を開催した。併せて、講演に関係する貴重資料も展示した。

8. 施設・設備を改善

*利用者サービスの向上を図るためには、学生のニーズを把握することが重要である。平成20年7月に図書館アンケートを実施し、その結果を踏まえて年次計画を立て、デスクライトを平成22年度に51台を取替えた。

薬学分館

1. 実務実習など新しい薬学教育制度に対応する図書館サービス

*新しい教育内容に対応した広範な資料を購入、併せて、理科教員免許取得が可能になり、関連図書も揃えた。学生に館内資料の利用推進を目的に、教員から学生へ資料の推薦とその推薦文を展示した。

2. 社会貢献として近隣薬剤師への開放

*本学の卒業生と薬学部主催の薬学講座受講生に対する M.I.C.の発行が始まり、学外者に図書の貸出が可能になった。また、中央図書館と同様に附属中高生の閲覧と貸出が可能となった。

3. 機関リポジトリにおけるコンテンツの充実

*機関リポジトリは、紀要の最新版も含めて約14年分の入力を終了した。また、貴重書は3分の1程度がインターネット上で見られるようになった。

・今後出版される学内刊行物の搭載についても図書館委員会で承認された。

4. 資料の収蔵スペースと電子化の検討

*館内スペースの有効活用と資料の利便性の向上のため、資料の再配置と電子化の対策を検討し、その結果、集密書架の導入の必要性和電子資料は、円高差益を生かして化学系出版社のバックファイルの一括購入ができた。

5. 理系図書館員としての能力向上のための研修

*医薬系職員向けの学外研修会に参加し参考となる点が多数あったこと。特に学内においては、全員で医薬情報の授業を参観し、授業内容や学生の反応などを実際に見聞できたこと。図書館内における学生の利用指導に大いに参考となった。

機関名 流通科学大学附属図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

○施設設備

①館内の椅子の汚れが目立つため、椅子クッションの取替えを実施した。(写真)



②書架の増強を行なった。(写真)



II. 学習支援関連

1年生が履修している基礎演習の時間帯に、情報リテラシー教育の一環として「ライブラリーツアー」と「メディアセンターツアー」の2つについて参加者を募集した。この2つのツアーはゼミ担当教員が予約して初めて実施されるものである。1回のツアーの最大受付ゼミ数は2ゼミとしている。平成22年度実績では、1年生ゼミの全体の95%が参加し、アンケート結果も好評であった。その好評の結果の流れを受けて、平成23年度は1年生の基礎演習で、「ライブラリーツアー」と「メディアセンターツアー」の参加について必修化された。

講師は図書館職員が行ない、ツアー内容は主に演習問題を中心としたものとなっている。基本的な情報収集の仕方、各施設の利用方法など1年生が学べる内容となっている。

機関名 近畿大学豊岡短期大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

- ・ 図書館の利用に関するアンケート調査を実施（平成23年1月）

II. 学習・研究支援関連

- ・ 1年次必修科目「教養演習」で、図書館資料を使用しての演習を中心としたメディアリテラシーの授業を実施（3回）
- ・ 学生が図書館に来館する機会を増やす、また言葉に関する感性を養うため、川柳大賞・口語短歌大賞を実施
- ・ 保存期間が終了した雑誌の無償譲渡
- ・ 資料の展示や図書館等の掲示版での図書を紹介

機関名 神戸女子短期大学 図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

- ・ 管理者として館長と正職員1名、その他は3名の業務委託のアウトソーシングで運営。

II. 学習支援関連

◆情報リテラシー支援

- ・既存の図書館ツアーやガイダンスの他、教員と協力して講義の初回時オリエンテーションプログラムに図書館の活用レクチャーを組み込んで行なった。
- ・ゼミ単位などでの文献ガイダンスをフレキシブルに行なった。

III. 環境整備・利用者増員策関連

◆“Live Rally”プロジェクト(継続中)

- ・掲示板の表示方法を見直し、女子大学らしさや関連学科の特色を取り入れて表現
- ・「手に取りたくなる」興味や関心に繋がる展示やしかけの工夫。
- ・就職活動やタイムリーなテーマを取り上げて、ミニフェアを開催。
- ・就活に役立つ資料や情報を学生目線のニーズで紹介するためのポップ表示

IV. 地域連携

- ・創立70周年を祈念して、特別コレクションとして収集しているターシャ・テューダーの作品の展覧会を開催した。

展覧会「ターシャ・テューダー、スローライフとその作品」

開催期間: 平成22年6月10日(木)~15日(火)

10:00~20:00(最終日15日のみ10:00~18:00)

会場: 神戸・三宮さんちか3番街さんちかホール

入場料等: 無料

展示内容: 本図書館所蔵当該特別コレクション全点出品

ターシャ・テューダー展



館内広報とミニ展示



機関名 産業技術短期大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

II. 学習支援関連

1. 編入学支援

編入学試験に特化した数学・物理・英語の演習資料を充実させ、まとめて配置し利用を促進。

2. 就職支援

面接対策として「ことば」や「国語力」に関する資料をまとめて展示し、コミュニケーション能力の向上を促進。

3. 論文・レポート作成支援

「レポートの書き方と OPAC 利用方法について」と題したガイダンスを実施し、同時にレポート作成関連の資料を入口そばの書架にまとめて配置。

機関名 頌栄短期大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

特になし

I. 組織機構・管理運営関連

II. 学習支援関連

III. 研究支援関連

IV. 地域連携

機関名 聖和短期大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

聖和短期大学図書館は、関西学院大学教育学部資料室を兼ねており、聖和キャンパス唯一の図書館として、短期大学生・学部生・院生から教員に至るまで、広く支援を行っている。短期大学・大学の教員が参加する委員会を設け、幅広い支援を行える体制をとっている。

II. 学習支援関連

新入生を対象に OPAC を中心に図書・雑誌の検索オリエンテーションを実施。
図書館に親しみを持ってもらうため、新入生を主な対象とした映画上映会を複数日実施。

III. 研究支援関連

学部と連携し、図書館配架の図書以外に、大学院生共同研究室への図書購入を行っている。

IV. 地域連携

機関名 東洋食品工業短期大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

情報館での蔵書検索

II. 学習支援関連

学生へのレファレンスと貸出返却業務

III. 研究支援関連

図書館だよりと新着図書案内を月1回発行する。

IV. 地域連携

地域住民への開放を行っている。

機関名 姫路日ノ本短期大学図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

学生のリクエストを積極的に取り入れるための「リクエスト受付カウンター」を設置。

II. 学習支援関連

日本十進分類法に基づいた蔵書構成ではなく、幼児教育科だけの単科大学の役割に沿った図書館を目指した。

- ・ 入り口付近に絵本・大型絵本・しかけ絵本・エプロンシアター等を集め、ディスプレイする。
- ・ 幼児教育関係の専門書を充実させ、複本購入を積極的に進めた。
- ・ 読書離れの傾向が強い学生の利用を活発にする為、教養としての漫画のコーナーを設置。

III. 研究支援関連

特になし

IV. 地域連携

特になし

機関名 湊川相野学園図書館

承合事項

各加盟館の特色ある活動、または力を入れている活動(平成22年度)の報告について

I. 組織機構・管理運営関連

- ・ 書架の転倒防止工事

II. 学習支援関連

- ・ 新入生にオリエンテーション、館内ツアーをクラスごとに実施。
- ・ 卒業研究作成前に2年生の希望者を対象に文献検索・文献の取り寄せの説明。
- ・ 1年生の授業「専門基礎Ⅰ」において文献検索・文献の取り寄せの説明。
- ・ 教育・施設実習のための貸出しを実習1か月前から貸出冊数無制限で実施。

III. 研究支援関連

- ・ 特になし

IV. 地域連携

- ・ 特になし